

東京湾奥金沢漁港出船

撮影●鈴木良和

テクニカル ゲームが楽しい 東京湾の タチウオ盛況



●テンビン仕掛けで1メートル超級。良型が釣れるとやっぱりうれしい



▼テンビン仕掛けはオモリ60〜80号を使い分ける



▼当日は猿島〜走水沖の水深60メートル前後を狙った



●テンヤにきた当日最大121センチ



●アタリの多さを楽しめばテンビン仕掛けがおすすめ



●テンビン仕掛けは60〜80センチ前後が主体



●狙いどおりに掛けられたときはうれしい

東京湾のタチウオが依然として盛況だ。一時は湾奥の浅場にも群れの回遊が見られたが、このところは再び猿島〜走水沖の水深60メートル前後が主戦場となっている模様。釣果はトップ10〜20本前後と幅はあるが、これはアタリを掛けられるかどうかによっても変わってくる。その難しくも面白いところがタチウオ釣りの魅力で、常に安定した人気を誇る理由でもある。

なお、取材した東京湾奥金沢漁港の蒲谷丸ではテンビン主体に出船も、希望すればテンヤの釣りもOKだ。
(詳細は60ページ参照)



●東京湾奥金沢漁港・蒲谷丸 蒲谷 政徳船長